

発行者名	東京書籍	帝国書院
<p>調査の観点</p> <p>1 内容 (1) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2) 児童の発達段階に対する配慮されているか。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮があるか。 (5) 児童の習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか。</p>	<p>(1) 地図や地球儀を効果的に活用し、国土に対する地理的理解等、社会科を深める学習が進められるように内容を配慮している。 (2) 国別統計にオリンピックやサッカーワールドカップ開催地の情報があり、児童にとって親しみやすくなっている。 (3) 同社の5・6年生社会科の内容と連動した資料が発展的に掲載されていて、各学年の内容に配慮している。日本の自然災害の内容が見開きで大きく取り上げられ、様々な災害の記録が写真と共に掲載されている。防災や世界文化遺産にもふれていて、写真とともに詳しく説明されている。 (4) 4人のキャラクターを使って地図の見方(問題)を示し、都道府県の特徴をとらえやすくする工夫をしている。カットを大きめにして興味をもてるようにしている。歴史の舞台や昔の境界等、写真も交えながら分かりやすく示している。 (5) 北極を中心にしてユーラシア大陸とアメリカ大陸が向かい合っている地図があり、日本と外国との距離が地球儀と同じようにとらえることができる。</p>	<p>(1) 地図の成り立ちや地図記号の理解、索引の引き方など、地図帳にかかわる内容が充実している。地震・火山の災害と防災というページが加わり、防災に対する取り組みや防災マップ作りのページが掲載されている。地球儀の扱いのページもある。 (2) 見開きページの左端に地方名が入ったことにより、調べ活動がしやすい。行政区分がはじめる見開きに位置付いていて、日本全図を常に振り返りながら調べることができる。 (3) 日本の47都道府県の特徴的な施設・場所・産物等がイラストでも紹介されている。 (4) 地図指導の導入の工夫があり、実際の地図ページを例に出して説明し、児童の興味関心を引き出す工夫がある。キャラクターによる吹き出しで興味・関心を引き出している。 (5) 竹島・尖閣諸島・北方領土等が写真も含めて掲載され、教科書と組み合わせ学習が進めやすい。日本の産業や歴史・世界につながるページがあり、児童の調べ学習等に生きるように配慮されている。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮しているか。</p>	<p>(1) 都道府県、地図の使い方、領土等から日本・世界と系統的に構成されている。自然災害の見開きページが充実して地震やプレートのかかわりごととらえることができる。 (2) 日本全図が大きくて見やすい。 (3) 主要な山や島等を写実的に示しており、姿形も理解することができる。別に災害被害マップが写真や図などを入れて分かりやすく示している。産業のページを多めに取り、貿易を含めて6ページ掲載して5年生の社会科の学習に生きる。索引の分量が多く字の大きさ・配色に配慮しているので、調べやすい。索引数は10ページに表示され字も大きく調べやすい。見開きの日本と日本を取り巻く国・海の地形図で、日本の国土(地形)の様子がつかみやすい。領土の範囲では、日本の最北端と最西端まで入っている。</p>	<p>(1) 国土認識の基礎となる都道府県の位置と名称が明示されている。都道府県、地図の使い方、領土等から日本と世界と系統的に構成されている。日本の歴史のページでは、昔の境界・世界遺産の他、交通路や歴史の舞台になった場所を掲載している。主要な山や島等を絵で示しており、大きさや広さを見て理解することができる。 (2) 地方ごとにコンパクトにまとめられている。国立公園や世界遺産、様々な施設などが地図上に表記されていて分かりやすい。 (3) 索引は全ての学校の地域を網羅している。社会科以外での活用も視野に入れて、適度に発展的な情報が入っていて、児童の興味・関心を喚起する。索引数は6ページにまとめられ、全小学校の地域が網羅されている。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現であるか。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1) 都道府県とその周りを大きく載せていて、県と周りの特徴がよく分かる。地図が大きく内容も分かりやすく工夫されている。主な産業には、絵記号が用意されており一目で分かるようになっている。主な歴史の舞台や建造物等が地図上に表記されている。土地の利用の様子が色分けされていて見やすい。都道府県の統計資料は地域ごとに色分けされ、上位5位は赤色の太字で表記され、特徴がとらえやすい。 (2) 写真等を取り入れて地域の様子が見て感じられるようにしてある。艶のない印刷で、配色や字・カットの大きさの工夫があり、分かりやすく見やすい。見開きの日本と日本を取り巻く国・海の地形図の色合いがよく、日本の国土(地形)の様子がつかみやすい。</p>	<p>(1) 地図上の地名の大きさが適切で見やすい。情報量が多く、調べたいものが目的別に見付けられるよう字体や濃さを変える等の工夫がされている。また、地図記号が適宜使用されている。ページの端に地方名が明記され、活用しやすい。主な産業には、絵記号が用意されており一目で分かるようになっている。世界の国別統計では、国名の隣に索引がついていて、調べやすい。土地の利用の様子が色分けされ、主な歴史の舞台や建造物・昔の境界等が写真も交えながら分かりやすく示している。統計表は見た目・色合いがよく活用しやすい。 (2) 全体的に光沢感があり、色使いで陸の高さや海の深さを表している。写真等を取り入れて地域の様子が見て感じられるようにしてある。吹き出しなどを使って、地図の見方、特徴等を示している。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮しているか。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。 (3) 印刷・装丁に対して配慮しているか。 (4) 地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1) 目次が大きく見やすく見通しをもたせやすい。地図帳の使い方が人物のカットを使って吹き出しで説明している見通しがもちやすい。目次がマークで分けられ分かりやすくなっている。 (2) キャラクターの吹き出しで地図の活用の仕方の視点が明確になっていて、課題発見・課題解決しやすい。 (3) 教科書より大きいA4サイズなので、広範囲にわたって描かれている。また、大縮尺で表せる地域があり、フォントも大きい。カラーユニバーサルデザインに配慮している。 (4) 八王子市は太字で分かりやすく載っているが、東京地域の地図は23区を中心にしたものである。世界遺産の京都、奈良、斑鳩町付近等は、別に大きな地図で見やすく示している。資料ページに多くのページを割いている。</p>	<p>(1) 最初の見開きページに目次があり見通しをもたせやすい。地図帳の使い方がシンプルで調べ方の例も工夫され分かりやすく説明されている。 (2) 児童の視点に立ったキャラクターの吹き出しで、着目させたり考えさせたりしている。 (3) 教科書と同じサイズで使いやすい。表紙が丈夫な作りになっている。カラーユニバーサルデザインに配慮している。 (4) 東京都全体の鳥瞰図が掲載されていて、八王子の位置や地形がとらえやすく、4年生には活用しやすい。東京23区は、別に大きな地図で見やすく示している。特徴的な地形や学習に使われる土地などは、囲みで拡大され見やすく示してある。</p>
<p>5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1) 教科書との関連は図りやすい。配色や字・カットの大きさの工夫があり、情報量・大きさ・色合い等入門期からも適している。 (2) 現行のもの比べて大きくなり見やすくなっている。</p>	<p>(1) 世界の地域ごとに、そのページに国旗が描かれている。薄く軽い中に多くの情報を取り入れ、情報量・文字・色合い等高学年にも適している。 (2) 現行のものからさらに、世の中の情勢に合わせて、記載や項目がさらに追加され、用途の範囲が広がっている。</p>